

歴認研活動記録

歴史認識問題研究会・役員名簿（令和8年9月現在）

- 会長：西岡 力（麗澤大学特任教授・モラロジー道德教育財団教授）
- 副会長：高橋史朗（麗澤大学大学院特任教授・モラロジー道德教育財団教授）
- 同：江崎道朗（麗澤大学特任教授・評論家）
- 事務局長：勝岡寛次（麗澤大学国際問題研究センター客員教授）
- 同次長：長谷亮介（麗澤大学国際問題研究センター客員准教授）
- 幹事：島田洋一（福井県立大学名誉教授）
- 同：久保田るり子（産経新聞編集局客員編集委員）
- 同：山本優美子（国際歴史論戦研究所所長）
- 監査：久野 潤（日本経済大学准教授）
- 顧問：櫻井よしこ（ジャーナリスト・国家基本問題研究所所長理事長）
- 同：渡辺利夫（拓殖大学学事顧問・前総長）
- 同：ケビン・ドーク（ジョージタウン大学教授）

歴認研活動履歴（令和8年4月以降）

令和8年（2026）
5月23日（土）：歴史認識問題研究会公開研究会（於全国町村会館ホール）
「中国との歴史戦をどう戦うかー南京事件を中心に」
基調提言 北村稔「南京事件と映画『南京照相館』」
阿羅健一「外務省HP、民間人殺傷の問題」
ディスカッション 西岡力（コーディネート）
北村稔・阿羅健一・櫻井よしこ
（公開研究会の記録は、本誌に収載）

月例研究会（非公開）開催記録（第34回～第39回）＊36回は公開研究会と兼ねています。

回	日時	講師（肩書）	テーマ
34	8.3.21	都倉武之（慶應義塾福沢研究センター教授）	福沢諭吉とインテリジェンス ー脱亜論をどのように読むべきか
		下條正男（拓殖大学名誉教授）	日本海呼称問題についてー『新東南海』
35	8.4.25	中村覚（日本沖縄政策研究フォーラム理事長）	国連人権理事会での沖縄“先住民族”論への反論報告
		西岡力・山本優美子	3月訪韓報告会
36	8.5.23	北村稔（立命館大学名誉教授）	南京事件と映画「南京照相館」
		阿羅健一（近現代史研究家）	外務省HP、民間人殺傷の問題
37	8.6.27	池田悠（ジャーナリスト）	一次史料が明かす南京事件の真実 ーアメリカ宣教師史観の呪縛を解く
		内田智（弁護士）	賀茂裁判の経過と顛末、裁判で問われたもの
38	8.7.25	藤木俊一（国際歴史論戦研究所上席研究員）	国連内のパワーバランス
		長谷亮介（麗澤大学客員准教授）	朝鮮人戦時労働者に関する住友鴻之舞鉱山の新史料発見
39	8.8.29	石井望（長崎純心大学准教授）	鄭成功戦争下の「尖閣」1660 ートリシマ琉球から出島蘭館へ
		勝岡寛次（麗澤大学客員教授）	昭和天皇「憲法改正」の悲願 ー『昭和天皇拝謁記』を読み解く